



令和5年1月13日

## 1月15日から21日は「防災とボランティア週間」です

「防災とボランティア週間」は、阪神・淡路大震災を契機に創設され、災害時におけるボランティア活動や自主的な防災活動についての認識を深めるとともに、災害への備えの充実強化を図ることを目的としています。

本週間をとらえて、東京都が新たに「首都直下地震等による東京の被害想定」を公表したことや、関東大震災100年の年であること、近年多発する台風や豪雨による自然災害での教訓等を踏まえ、地域住民を主体とした自助・共助の精神に基づく地域防災力の向上を目的とした取組を推進します。

なお、各行事は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮した形で推進します。

### 1 実施期間

令和5年1月15日（日）から同年1月21日（土）まで  
防災とボランティアの日 令和5年1月17日（火）

### 2 推進項目

- (1) 地域の実情に応じた各種施策の効果的な推進
- (2) 災害時支援ボランティアの指導育成の推進
- (3) 災害時支援ボランティアの募集広報の推進

### 3 関連行事

第19回地域の防火防災功労賞表彰式  
別紙のとおり

### 4 東京消防庁災害時支援ボランティアについて

東京消防庁災害時支援ボランティア（以下「災害時支援ボランティア」という。）は、震災時等に、あらかじめ登録している消防署等に参集し、消防署の支援を行う専門のボランティアです。また、平常時は地域の防火防災訓練等に参加し、都民指導を実施するなど、地域防災力の向上に寄与しています。

登録要件は、原則として、東京消防庁管轄区域内に居住、勤務又は通学している15歳以上（中学生を除く。）の方で、応急救護に関する知識等を保有している方が登録の要件となっており、令和4年10月末現在では、約3,400名の

登録者がいます。

東京消防庁では災害時支援ボランティアを募集しています。なお、新型コロナウイルス感染症防止のため、メールや郵送などでの登録手続きも実施しています。

東京消防庁災害時支援ボランティア募集ページ

<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/hpbousaika/sien/index.html>



**関東大震災100年**

幾多の災害を乗り越えてきた東京  
備えよう、明日の防災

問合せ先

東京消防庁（代表）	03-3212-2111
防災安全課防災安全係	内線 3927・4208
広報課報道係	内線 2346～2350

## 第19回地域の防火防災功労賞表彰式について

### 概 要

「地域の防火防災功労賞」は、阪神・淡路大震災から10年目の節目にあたる平成16年6月に、地域防災力の向上を図ることを目的として創設されました。町会・自治会、事業所等の防火防災に関する取組について募集し、表彰することで広く都民に紹介するものです。

今年も地震、風水害等の自然災害に関する町会・自治会等が主体となった地域の取組や、地域が実施する住宅防火に関する取組など、76事例の応募があり、令和4年9月14日（水）に開催された第19回地域の防火防災功労賞選考委員会において各賞が決定いたしました。

#### 1 実施日時（表彰式・写真撮影）

令和5年1月17日（火）13時30分から15時00分まで  
（表彰式：13時30分から14時00分）

#### 2 実施場所

東京消防庁スクワール麹町3階（東京都千代田区麹町六丁目6番地）

#### 3 受賞団体

##### (1) 最優秀賞受賞団体（3団体）

DEUX TOURS防災区民組織（臨港）、東京都立美原高等学校（大森）、  
中央大学杉並高等学校（荻窪）

##### (2) 優秀賞受賞団体（4団体）

府中市自治会連合会（府中）、本町二丁目町会防災会（小金井）、青梅市自治会連合会第八支会・第八支会地区防災対策委員会（青梅）、東京都立多摩桜の丘学園（多摩）

#### 4 列席者

消防総監、防災部長、参事兼防災安全課長、関係各署長等

#### 5 取組事例について

最優秀賞（消防総監賞）3団体の取組内容は別添え1のとおりです。

#### 6 その他

- (1) 取材を希望される社は、令和5年1月13日（金）17時00分までに広報課報道係までご連絡ください。

- (2) 当日は、建物1階出入口付近にて12時30分から受付を行います。(別添え2参照) 受付終了後、順次会場の撮影位置にご案内いたします。
- (3) 取材予定全社を会場へご案内後、レクチャーを実施します。
- (4) 取材の際は、自社腕章を着用してください。
- (5) 駐車場の準備はありません。近隣のコインパーキング等をご利用ください。

## 最優秀賞（消防総監賞）事例概要

所属	団体名	事例名	活動概要	活動概要
臨港	DEUX TOURS 防災区民組織	超高層マンションにおけるオンライン環境を活用した安否確認体制の構築	住民が主体となって安否確認をオンラインで集約できる環境を構築し、コロナ禍においても人同士の接触を避けた上、多数の住民を取り込んだ訓練を可能とし、短時間に多数のマンション居住者の状況を確認できる安否確認訓練を実施した。	
大森	東京都立美原高等学校	災害時に生徒自身が考えて判断・行動する共助の担い手を育成するための総合防災教育	<p>Wi-Fi 環境の整備をはじめ積極的に新しい技術や ICT 設備が導入し、ICT・BYOD 活用の授業を展開し、総合防災教育にも活用した。</p> <p>開校当初から防火防災教育を取り入れることに重点を置き、ICT 教育と対面指導を掛け合わせながら、生徒、教職員に防火防災の意識を根付かせた上で、地域貢献するとともに、自助・共助の意識の高揚を図っている。</p>	
荻窪	中央大学杉並高等学校	だれも失わない学校づくり	<p>防災士の資格を持つ教員を中心に積極的に防災教育に取り組んでおり、地域社会全体の防災力の底上げにも貢献している。</p> <p>新入生は「保健」授業の普通救命講習の義務化（23 年間で 8,000 人の受講生）。各教室に災害救急用袋、非常持ち出し袋の設置 個室トイレに災害時トイレ用品を設置（69 か所）している。</p>	

## 第19回地域の防火防災功労賞表彰式会場図

